

で除した 0.013 mg/kg 体重/日を ADI と設定した。

ADI	0.013 mg/kg 体重/日
(ADI 設定根拠資料)	慢性毒性試験
(動物種)	イヌ
(期間)	1 年間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	1.38 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

暴露量については、当評価結果を踏まえて暫定基準値の見直しを行う際に確認することとする。

表 32 各評価機関の評価結果及び各試験における無毒性量等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国	EU	食品安全委員会	参考資料 (農薬抄録)
ラット	90日間 亜急性 毒性試験	0、100、500、2,500、 12,500 ppm 雄：0、6.6、32.1、 167、851 雌：0、8.1、47.1、 215、996		雄：32.1 雌：8.1  雌雄：副腎皮質細胞質の 小空胞化等	雌雄：8.1  雄：詳細不明 雌：副腎皮質細胞質の 小空胞化	雄：32.1 雌：8.1  雌雄：副腎皮質細胞質 の小空胞化等	雄：32.1 雌：8.1  雌雄：副腎皮質細胞質 の小空胞化等
	90日間 亜急性 神経毒 性 試験	0、100、1,000、 12,500 ppm 雄：0、7.2、70.3、 1090 雌：0、9.1、87.3、 1310		雄：70.3 雌：87.3  雌雄：体重増加抑制等  (神経毒性は認められ ない)	雌雄：70  雌雄：四肢伸展減少等	雄：70.3 雌：87.3  雌雄：体重増加抑制等  (神経毒性は認められ ない)	一般毒性 雄：70.3 雌：87.3  神経毒性 雄：1090 雌：1310  雌雄：体重増加抑制等  (神経毒性は認められ ない)
	2年間 慢性毒 性/ 発がん 性 併合試 験	0、50、100、350、 2,500 ppm 雄：0、2.04、4.11、 14.7、110 雌：0、2.87、5.93、 19.9、153	一般毒性：4.1 発がん性：14.7  一般毒性：雄でライディ ッヒ細胞過形成  (雄でライディッヒ細 胞腫増加、雌で子宮腺癌 増加)	雄：14.7 雌：19.9  雌雄：体重増加抑制等  (雄でライディッヒ細胞 腫増加、雌で子宮腺癌増 加)	雌雄：5.9  雌雄：詳細不明  (雄でライディッヒ 細胞腫増加、雌で子宮 腺癌増加)	雄：14.7 雌：19.9  雌雄：体重増加抑制等  (雄でライディッヒ細 胞腫増加、雌で子宮腺 癌増加)	雄：14.7 雌：19.9  雌雄：体重増加抑制等  (雄でライディッヒ細 胞腫増加、雌で子宮 腺癌増加)

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国	EU	食品安全委員会	参考資料 (農薬抄録)
			増加)				
2世代 繁殖試験	0、70、350、1,750 ppm P雄：0、5.2、26.2、135 P雌：0、5.5、27.6、139 F <sub>1</sub> 雄：0、6.4、30.2、178 F <sub>2</sub> 雌：0、7.0、34.4、193	親動物 雌雄：5.2  児動物 雌雄：26.2  繁殖能：5.2  親動物：体重増加抑制等 児動物：体重増加抑制  繁殖能 雄：性成熟遅延等 雌：黄体細胞空胞化等	親動物 P雄：5.2 P雌：5.5 F <sub>1</sub> 雄：6.4 F <sub>1</sub> 雌：7.0  児動物 P雄：5.2 P雌：5.5 F <sub>1</sub> 雄：6.4 F <sub>1</sub> 雌：7.0  繁殖能 P雄：26.2 P雌：27.6 F <sub>1</sub> 雄：30.2 F <sub>1</sub> 雌：34.4  親動物 P雄：体重増加抑制等 P雌：副腎皮質空胞化 F <sub>1</sub> 雌雄：副腎皮質空胞化等  児動物：体重増加抑制等 繁殖能	親動物：-  児動物：5.2  繁殖能：26.2  親動物：詳細不明 児動物：詳細不明  繁殖能：詳細不明	親動物 P雄：5.2 P雌：5.5 F <sub>1</sub> 雄：6.4 F <sub>1</sub> 雌：7.0  児動物 P雄：5.2 P雌：5.5 F <sub>1</sub> 雄：6.4 F <sub>1</sub> 雌：7.0  繁殖能 P雄：26.2 P雌：27.6 F <sub>1</sub> 雄：30.2 F <sub>1</sub> 雌：34.4  親動物 雄：体重増加抑制等 雌：副腎皮質束状帯空胞化等  児動物：体重増加抑制等	親動物 雄：5.2 雌：5.5  児動物 雄：5.2 雌：5.5  繁殖能 雄：26.2 雌：27.6  親動物 雄：体重増加抑制 雌：副腎皮質束状帯空胞化  児動物：体重増加抑制  繁殖能：精子数の減少等	

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				参考資料 (農薬抄録)
			JMPR	米国	EU	食品安全委員会	
				雄：精子細胞減少等 雌：黄体細胞空胞化等		繁殖能：精子数の減少等	
	発生毒性試験	0、100、300、1,000	母動物：1,000 胎児：300  母動物：毒性所見なし 胎児：腎盂拡張等  (催奇形性は認められない)	母動物：1,000 胎児：300  母動物：毒性所見なし 胎児：腎盂拡張  (催奇形性は認められない)	母動物及び胎児： 1,000  母動物及び胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められない)	母動物及び胎児：1,000  母動物及び胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められない)	母動物及び胎児：1,000  母動物及び胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められない)
	発達神経毒性試験①	0、70、350、1,500 ppm ----- 0、6.5、32.1、136	母動物：119 児動物：28.6  母動物：毒性所見なし 児動物：体重増加抑制等  (発達神経毒性に対する影響は認められない)	母動物：135.9 児動物：-  母動物：毒性所見なし 児動物：記憶学習障害等	母動物及び児動物： 119  母動物及び児動物：毒性所見なし  (発達神経毒性に対する影響は認められない)	母動物及び児動物： 32.1  母動物及び児動物： 哺育期間中の体重増加抑制等	母動物及び児動物： 69.7 (哺育期間中の検体摂取量)  母動物及び児動物： 哺育期間中の体重増加抑制等
	発達神経毒性試験②	0、70、350、1,500 ppm ----- 0、5.4、28.6、119				母動物：119 児動物：28.6  母動物：毒性所見なし  児動物：哺育期間中の体重増加抑制等  (発達神経毒性は認め	母動物：263 (哺育期間中の検体摂取量) 児動物：65.7 (哺育期間中の検体摂取量)  母動物：毒性所見なし  児動物：哺育期間中の体重増加抑制等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国	EU	食品安全委員会	参考資料 (農薬抄録)
						られない)	(発達神経毒性は認められない)
マウス	90日間 亜急性 毒性試験	0、100、1,000、 10,000 ppm 雄：0、15、164、 1,640 雌：0、30、234、 2,690	/	雄：15 雌：30  雄：ライディツヒ細胞肥大 雌：副腎皮質細胞質空胞化	雌雄：-  雌雄：詳細不明	雄：15 雌：30  雄：ライディツヒ細胞肥大 雌：副腎皮質細胞質空胞化	/
	18か月 間発がん性 試験	0、25、3,500、 7,000ppm 雄：0、4.1、610、 1,220 雌：0、5.1、722、 1,500	雌雄：5.1 発がん性：4.1  雌雄：副腎重量変化等 (雌雄で肝細胞腺腫及び癌増加)	雄：4.1 雌：5.1  雌雄：副腎絶対及び比重量増加等 (雄で肝細胞腺腫及び癌増加)	雌雄：-  雌雄：詳細不明  (肝腫瘍増加)	雄：4.1 雌：5.1  雌雄：副腎絶対及び比重量増加等 (雄で肝細胞腺腫及び癌増加)	雄：4.1 雌：5.1  雌雄：副腎絶対及び比重量増加等 (雄で肝細胞腺腫及び癌増加)
ウサギ	発生毒性 試験	0、100、300、1,000	母動物：100 胎児：1,000  母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められない)	母動物：100 胎児：1,000  母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められない)	母動物：100 胎児：300  母動物：詳細不明 胎児：肝臓の分葉異常  (催奇形性は認められない)	母動物：100 胎児：1,000  母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められない)	母動物：100 胎児：1,000  母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められない)

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>				
			JMPR	米国	EU	食品安全委員会	参考資料 (農薬抄録)
イヌ	90日間 亜急性 毒性試験	0、200、630、2,000 ppm ----- 雄：0、7.7、26.6、 84.7 雌：0、8.4、28.0、 81.0	雄：7.7 雌：-  雌雄：詳細不明	雄：7.7 雌：-  雌雄：副腎皮質束状帯空 胞化等	/	雄：7.7 雌：-  雌雄：副腎皮質束状帯 空胞化等	雄：7.7 雌：-  雌雄：副腎皮質束状帯 空胞化等
	1年間 慢性毒 性 試験	0、20、50、150、 500/600 ppm ----- 雄：0、0.56、1.38、 4.33、16.1 雌：0、0.59、1.52、 4.74、17.7	雌雄：1.4  雌雄：詳細不明	雄：1.38 雌：1.52  雌雄：副腎比重量増加等	雌雄：1.45  雌雄：詳細不明	雄：1.38 雌：1.52  雌雄：副腎皮質束状帯 空胞化	雄：1.38 雌：1.52  雌雄：副腎皮質束状帯 空胞化等
ADI (cRfD)			NOAEL：1.4 SF：100 ADI：0.01	LOAEL：6.5 UF：1,000 cRfD：0.0065	NOAEL：1.45 SF：100 ADI：0.015	NOAEL：1.38 SF：100 ADI：0.013	NOAEL：1.38 SF：100 ADI：0.013
ADI (cRfD) 設定根拠資料			イヌ1年間慢性毒性試験	ラット発達試験毒性試験	イヌ1年間慢性毒性試験	イヌ1年間慢性毒性試験	イヌ1年間慢性毒性試験

ADI：一日摂取許容量 cRfD：慢性参照用量 UF：不確実係数

NOAEL：無毒性量 LOAEL：最小影響量 SF：安全係数 -：無毒性量は設定できない

1) 無毒性量欄には、最小毒性量で認められた主な毒性所見等を記した

<別紙 1 : 代謝物/分解物略称>

略称	化学名
M1	3-(2,4-dichlorophenyl)-4-hydroxy-1-oxaspiro[4.5]dec-3-en-2-one
M2	3-(2,4-dichlorophenyl)-4,6-dihydroxy-1-oxaspiro[4.5]dec-3-en-2-one
M3	3-(2,4-dichlorophenyl)-4,7-dihydroxy-1-oxaspiro[4.5]dec-3-en-2-one
M4	3-(2,4-dichlorophenyl)-4,8-dihydroxy-1-oxaspiro[4.5]dec-3-en-2-one
M5	3-(2,4-dichlorophenyl)-4-hydroxy-1-oxaspiro[4.5]dec-3-en-2,7-dione
M6	3-(2,4-dichlorophenyl)-4-hydroxy-1-oxaspiro[4.5]deca-3,6-dien-2-one
M7	3-(2,4-dichlorophenyl)-4-hydroxy-1-oxaspiro[4.5]decane-3,7-dien-2-one
M8	1-(2,4-dichloro- $\alpha$ -hydroxyphenylacetoxy)cyclohexanecarboxylic acid
M9	1-(2,4-dichloro- $\alpha$ -hydroxyphenylacetoxy)-3-hydroxycyclohexanecarboxylic acid 又は 1-(2,4-dichloro- $\alpha$ -hydroxyphenylacetoxy)-4-hydroxycyclohexanecarboxylic acid
M10	Glucoside and pentoside of M8
M11	2,4-dichloro- $\alpha$ -(1-carboxycyclohexyloxycarbonyl)benzylglucoside
M12	2,4-dichloromandelic acid
M13	2,4-dichloro- $\alpha$ -carboxybenzylglucoside
M14	3-(2,4-dichlorophenyl)-3-hydroxy-1-oxaspiro[4.5]decane-2,4-dione
M15	3-(2,4-dichlorophenyl)-3,4-dihydroxy-1-oxaspiro[4.5]decan-2-one
M16	3-(2,4-dichlorophenyl)-1,4-dioxaspiro[5.5]undecane-2,5-dione
M18	2,4-dichlorobenzoic acid
M19	11-chloro-8-oxo-1-oxaspiro[4.5]dec-2-eno[2,3:b]benzofuran
M20	OH-enol glucuronide
U3	分析中に M18 に変換される代謝物

<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
ai	有効成分量 (active ingredient)
ALD	アルドリンエポキシダーゼ
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ (GPT) ]
AR	アンドロゲンレセプター
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (GOT) ]
AUC	薬物濃度曲線下面積
Chol	コレステロール
C <sub>max</sub>	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
CYP	チトクローム P450 アイソザイム
E2	エストラジオール
ECOD	エトキシマリン O-デエチラーゼ
EH	エポキシドヒドラーゼ
E/P 比	17β-エストラジオール/プロゲステロン比
ER	エストロゲンレセプター
EROD	エトキシレゾルフィン O-デエチラーゼ
FOB	機能観察総合評価
GDH	グルタミン酸脱水素酵素
GLUT	UDP-グルクロニルトランスフェラーゼ
GST	グルタチオン-S-トランスフェラーゼ
HMG-CoA	3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリル CoA
IC <sub>50</sub>	半数阻害濃度
LC <sub>50</sub>	半数致死濃度
LD <sub>50</sub>	半数致死量
LH	黄体形成ホルモン
MC	メチルセルロース
MCH	平均赤血球血色素量
MCV	平均赤血球容積
NADH	ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド
NADPH	ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸
N-DEM	N-デメチラーゼ
O-DEM	O-デメチラーゼ
P450	チトクローム P450
PCR	ポリメラーゼ連鎖反応
PHI	最終使用から収穫までの日数
PLT	血小板数
PROG	プロゲステロン
PTT	部分トロンボプラスチン時間
Q10	ユビキノン
RBC	赤血球数
T <sub>1/2</sub>	消失半減期



T <sub>4</sub>	サイロキシン
TAR	総投与（処理）放射能
TG	トリグリセリド
T <sub>max</sub>	最高濃度到達時間
TRR	総残留放射能
TSH	甲状腺刺激ホルモン
UFA	非エステル結合型脂肪酸
WBC	白血球数

<別紙3：作物残留試験成績（国内）>

作物名 (分析部位 実施年)	試験圃 塊数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値 (mg/kg)																	
					公的分析機関								社内分析機関									
					スピロジクロフェン		M9		M12+M13		合計		スピロジクロフェン		M9		M12+M13		合計			
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
温州みかん (果肉) 2000年	1	300 <sup>SC</sup>	1	7	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05		
				14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	
				21	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	
				28	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	
	1			7	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
				14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
				21	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
				28	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
温州みかん (果皮) (2000年)	1	300 <sup>SC</sup>	1	7	0.38	0.38	<0.04	<0.04	0.19	0.19	0.61	0.61	0.27	0.27	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.35	0.35		
				14	0.31	0.30	<0.04	<0.04	0.43	0.43	0.78	0.77	0.24	0.24	<0.04	<0.04	0.05	0.05	0.33	0.33		
				21	0.37	0.36	<0.04	<0.04	0.73	0.69	1.14	1.09	0.20	0.20	<0.04	<0.04	0.08	0.08	0.32	0.32		
				28	0.15	0.14	<0.04	<0.04	0.76	0.74	0.95	0.92	0.16	0.16	<0.04	<0.04	0.08	0.08	0.28	0.28		
	1			7	0.78	0.76	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.86	0.84	0.75	0.74	<0.04	<0.04	0.05	0.05	0.84	0.83		
				14	0.53	0.53	<0.04	<0.04	0.13	0.13	0.70	0.70	0.41	0.40	<0.04	<0.04	0.09	0.09	0.54	0.53		
				21	0.34	0.33	<0.04	<0.04	0.17	0.15	0.55	0.52	0.50	0.50	<0.04	<0.04	0.14	0.14	0.68	0.68		
				28	0.28	0.28	<0.04	<0.04	0.17	0.17	0.49	0.49	0.28	0.27	<0.04	<0.04	0.19	0.18	0.51	0.49		
夏みかん (果肉) 2000年	1	375 <sup>SC</sup>	1	7	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05		
				14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	
				21	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	
				28	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	
	1			7	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
				14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
				21	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
				28	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05

夏みかん (果皮) 2000年	1	375 <sup>SD</sup>	1	7	1.90	1.76	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<1.98	<1.84	0.92	0.88	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<1.00	<0.96	
				14	1.18	1.16	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<1.26	<1.24	1.10	1.08	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<1.18	<1.16	
				21	1.22	1.18	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<1.30	<1.26	1.16	1.14	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<1.24	<1.22	
				28	0.75	0.74	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.83	<0.82	0.76	0.76	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.84	<0.82	
	1				7	0.28	0.28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.34	<0.34	0.31	0.31	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.39	<0.39
					14	0.19	0.19	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.27	<0.27	0.21	0.21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.29	<0.29
					21	0.28	0.25	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.36	<0.33	0.22	0.22	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.30	<0.30
					28	0.13	0.13	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.21	<0.21	0.11	0.11	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.19	<0.19
夏みかん (果実) 2000年	1	375 <sup>SD</sup>	1	7	果肉、果皮 のデータ より算出 するため 平均値を 用いた	0.55	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04		<0.63	果肉、果皮 のデータ より算出 するため 平均値を 用いた	0.30	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04		<0.38	
				14	0.36	<0.04	<0.04	<0.44	0.37	<0.04	<0.04	<0.45									
				21	0.50	<0.04	<0.04	<0.58	0.41	<0.04	<0.04	<0.49									
				28	0.27	<0.04	<0.04	<0.35	0.29	<0.04	<0.04	<0.37									
	1				7	果肉、果皮 のデータ より算出 するため 平均値を 用いた	0.10	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04		<0.18	果肉、果皮 のデータ より算出 するため 平均値を 用いた	0.11	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04	検出限界 未満の場合 合計検出 限界値を 用いて算 出した	<0.04		<0.19
					14	0.06	<0.04	<0.04	<0.14	0.07	<0.04	<0.04	<0.15								
					21	0.09	<0.04	<0.04	<0.17	0.08	<0.04	<0.04	<0.16								
					28	0.05	<0.04	<0.04	<0.13	0.04	<0.04	<0.04	<0.12								
小粒か んきつ (果実) 2000年	1	300 <sup>SD</sup>	1	7								0.28	0.28	<0.02	<0.02	0.07	0.07	<0.37	<0.37		
				14								0.12	0.12	<0.02	<0.02	0.06	0.06	<0.20	<0.20		
				23								0.08	0.08	<0.02	<0.02	0.10	0.10	<0.20	<0.20		
				28								0.02	0.02	<0.02	<0.02	0.06	0.06	<0.10	<0.10		
小粒か んきつ (果実) 2000年	1	480 <sup>SD</sup>	1	7								0.40	0.40	<0.02	<0.02	0.08	0.08	<0.50	<0.50		
				14								0.13	0.13	<0.02	<0.02	0.13	0.12	<0.28	<0.27		
				21								0.16	0.16	<0.02	<0.02	0.16	0.16	<0.34	<0.34		
				28								0.05	0.05	<0.02	<0.02	0.15	0.14	<0.22	<0.21		
りんご (果実) 2001年	1	1140 <sup>WDG</sup> 又は 1190 <sup>WDG</sup>	1	7	0.54	0.53	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.60	<0.59	0.49	0.49	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.53	<0.53	
				14	0.28	0.28	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.34	<0.34	0.44	0.44	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.48	<0.48	
				21	0.25	0.24	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.31	<0.30	0.30	0.29	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.34	<0.34	
				28	0.16	0.16	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.22	<0.22	0.23	0.20	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.27	<0.24	
	1				6 <sup>a</sup>	0.80	0.80	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.86	<0.86	0.81	0.80	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.85	<0.84
					13	0.49	0.49	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.55	<0.55	0.46	0.46	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.50	<0.50
					21	0.28	0.26	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.34	<0.32	0.31	0.31	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.35	<0.35
					28	0.34	0.34	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.40	<0.40	0.31	0.30	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.35	<0.34

ひわ (果実: 果梗、果皮及種子 を除去したも の) 2004年	1	375 <sup>SC</sup>	1	7 14 21	0.08 0.06 0.08	0.08 0.06 0.08	/	/	/	/	/	/	0.04 0.02 0.02	0.04 0.02 0.02	/	/	/	/	/				
	1	300 <sup>SC</sup>		7 14 21	0.14 0.10 0.08	0.14 0.10 0.07	/	/	/	/	/	/	0.03 0.03 0.02	0.03 0.02 0.02	/	/	/	/	/				
おうとう (果実) 2001年	1	760 <sup>WDG</sup>	1	7 14 21 28	1.30 0.73 0.13 0.21	1.28 0.73 0.12 0.20	<0.02 <0.02 <0.02 <0.02	<0.02 <0.02 <0.02 <0.02	0.04 0.06 0.07 0.11	0.04 0.06 0.07 0.11	<1.36 <0.81 <0.22 <0.34	<1.34 <0.81 <0.21 <0.33	0.97 0.47 0.16 0.16	0.96 0.44 0.16 0.16	<0.03 <0.03 <0.03 <0.03	<0.03 <0.03 <0.03 <0.03	<0.02 0.02 <0.02 0.04	<0.02 0.02 <0.02 0.04	<1.02 <0.52 <0.21 <0.23	<1.01 <0.49 <0.21 <0.23			
	1			7 14 21 28	0.91 0.60 0.20 0.19	0.88 0.60 0.20 0.18	<0.02 <0.02 <0.02 <0.02	<0.02 <0.02 <0.02 <0.02	<0.04 0.04 0.04 0.06	<0.04 0.04 0.04 0.06	<0.97 <0.66 <0.26 <0.27	<0.94 <0.66 <0.26 <0.26	0.89 0.57 0.38 0.15	0.84 0.56 0.37 0.14	<0.03 <0.03 <0.03 <0.03	<0.03 <0.03 <0.03 <0.03	0.02 0.04 0.06 0.04	0.02 0.04 0.05 0.04	<0.94 <0.64 <0.47 <0.22	<0.89 <0.63 <0.45 <0.21			
	茶 (荒茶) 2010年			1	600 <sup>SC</sup>	1	7 <sup>a</sup> 14 21	65.8 10.9 3.25	65.2 10.8 3.21	/	/	/	/	/	/	73.6 12.0 3.25	71.6 11.6 3.18	/	/	/	/	/	/
				1			7 <sup>a</sup> 14 21	18.1 4.37 0.25	18.0 4.34 0.25	/	/	/	/	/	/	/	/	19.9 4.48 0.26	19.6 4.44 0.26	/	/	/	/
茶 (浸出液) 2010年	1	600 <sup>SC</sup>	1	7 <sup>a</sup> 14 21	/	/	/	/	/	/	/	/	0.70 0.11 0.04	0.70 0.10 0.04	/	/	/	/	/	/			
	1			7 <sup>a</sup> 14 21	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0.16 0.04 <0.01	0.15 0.04 <0.01	/	/	/	/	/		

注) ai : 有効成分量、PHI : 最終使用から収穫までの日数

・試験には SC : フロアブル剤、WDG : 顆粒水和剤 を用いた。

・すべてのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。

・農薬の使用回数が申請された使用回数又は使用時期が (PHI) が、登録又は申請された使用方法から逸脱している場合は、回数又は PHI に a を付した。

<別紙4：作物残留試験（海外）>

作物名 (分析部位) 実施年	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)	
					スピロジクロフェン	
					最高値	
きゅうり (果実) 2004、2005、2007 年度	1	120 <sup>SC</sup>	2	3	0.02	
				5	<0.02	
			2	3	0.03	
				5	0.02	
			2	3	0.02	
				5	<0.01	
			2	3	0.02	
				5	0.02	
2	3	0.03				
	5	0.03				
トマト (果実) 2004、2005 年度	1	120 <sup>SC</sup>	2	3	0.07	
				5	<0.02	
			2	3	0.08	
				5	0.05	
			2	3	0.15	
				5	0.24	
			2	3	0.03	
				5	0.10	
2	3	0.07				
	5	0.07				
2	3	0.08				
	5	0.06				
いちご (果実) 2002 年度	1	96 <sup>SC</sup>	2	1 <sup>b</sup>	0.05	
				3	0.04	
				5	0.03	
				7	0.02	
	1		2	1 <sup>b</sup>	0.05	
				3	0.16	
				5	0.04	
				7	0.06	
	1		2	1 <sup>b</sup>	0.05	
				3	0.10	
				5	0.05	
				7	0.12	
1	2	7	0.13			
		15	0.11			
		1 <sup>b</sup>	0.03			
		3	<0.02			
1	2	5	<0.02			
		7	<0.02			
		7	<0.02			
		14	<0.02			

	1		2	3	0.06
	1		2	3	0.28
	1		2	3	0.04
	1		2	3	0.17
いちご (果実) 2002 年度	1	96 <sup>SC</sup>	2	1 <sup>b</sup>	0.06
				3	0.04
				5	0.03
				6	0.03
	1		2	11	<0.02
				1 <sup>b</sup>	0.06
				3	0.05
				5	0.06
	1		2	7	0.06
				13	0.04
				1 <sup>b</sup>	0.04
				3	0.05
1	2	5	0.02		
		7	0.03		
		14	0.03		
		1 <sup>b</sup>	0.03		
1	2	3	<0.02		
		5	<0.02		
		7	<0.02		
		14	0.02		
1	2	3	0.12		
1	2	3	0.88		
1	2	3	0.06		
1	2	3	1.1		
すぐり (果実) 2005、2008 年度	1	96 <sup>SC</sup>	1	7 <sup>b</sup>	0.36
				14	0.44
				21	0.21
				28	0.22
	1		1	7 <sup>b</sup>	0.05
				14	0.04
				21	0.03
				28	0.02
1	1	14	<0.01		
		21	0.07		
		14	0.026		
		21	0.021		
ホップ (繖花) 2005 年度	1	339~432 <sup>SC</sup>	1	14	3.1
	1		1	14	5.7
	1		1	7 <sup>b</sup>	1.6
				14	1.0
				21	0.67
				28	0.69
	1		1	7 <sup>b</sup>	2.4
				14	1.4
				21	1.7
				28	1.5
1	1	7 <sup>b</sup>	3.0		
		14	2.1		
		21	2.6		

				28	1.6		
	1		1	7 <sup>b</sup> 14 21 28	2.4 2.3 2.3 2.0		
	1		1	14 28	3.0 2.3		
	1		1	14 28	3.4 2.3		
	1		1	14 28	17 24		
ホップ (乾燥球花) 2005年度	1	339~432 <sup>SC</sup>	1	14 21 28	3.9 3.9 3.1		
	1		1	14 21 28	5.2 6.6 4.0		
	1		1	14 21 28	11 11 7.5		
	1		1	14 21 28	7.5 7.5 8.8		
	1		1	14 28	14 9.0		
	1		1	14 28	11 10		
	パパイヤ (果実) 2000、2001年度		1	72~144 <sup>SC</sup>	3 <sup>a</sup>	3 <sup>b</sup> 5 <sup>b</sup> 7 14	<0.03 <0.03 <0.03 <0.03
			1		3 <sup>a</sup>	7	<0.03
1		3 <sup>a</sup>	7		<0.03		
1		3 <sup>a</sup>	7		<0.03		
1		3 <sup>a</sup>	7		<0.03		
1		3 <sup>a</sup>	7		<0.03		
1		3 <sup>a</sup>	7		<0.03		
1		3 <sup>a</sup>	7		<0.03		
ココナッツ (果実) 2001年度	1	72~144 <sup>SC</sup>	3 <sup>a</sup>	21	<0.05		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.05		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.05		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.05		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.05		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.05		
コーヒー豆 (種実) 2000年度	1	72~144 <sup>SC</sup>	3 <sup>a</sup>	21	<0.03		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.03		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.03		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.03		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.03		
	1		3 <sup>a</sup>	21	<0.03		
とうがらし (果実) 2007年度	1	432 <sup>SC</sup>	2	1 <sup>b</sup> 3 5	2.42 2.21 1.82		

		原本の記載 (a.s.) が不明		7	1.62
			3	1 <sup>b</sup> 3 5 7	2.87 2.69 2.07 1.48
とうがらし (葉) 2007年度	1	432 <sup>WP</sup>	2	1 <sup>b</sup> 3 5 7	61.60 68.89 49.60 43.89
			3	1 <sup>b</sup> 3 5 7	62.90 57.99 49.13 40.35
まくわうり (果実) 2007年度	1	540 <sup>WP</sup>	2	1 <sup>b</sup> 3 5 7	0.06 0.03 0.03 0.04
			3	1 <sup>b</sup> 3 5 7	0.15 0.12 0.15 0.05
なす (果実) 2007年度	1	432 <sup>WP</sup>	2	3 7	0.70 0.22
			3	3 7	0.54 0.28
茶 (生葉) 2006年度	1	720 <sup>WP</sup>	3	3 7	5.09 1.76
			2	14	0.47
茶 (乾燥葉) 2006年度	1	720 <sup>WP</sup>	3	3 7	11.19 3.05
			2	14	2.01
茶 (浸出液) 2006年度	1	720 <sup>WP</sup>	3	3 7	0.45 0.08
			2	14	0.05

注) ai : 有効成分量、PHI : 最終使用から収穫までの日数

- ・試験には SC : フロアブル剤、 WP : 水和剤 を用いた。
- ・すべてのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。
- ・農薬の使用回数が申請された使用回数より多い場合は、回数に a を付した。
- ・PHI が登録された方法より短い場合、PHI に b を付した。



<参照>

- 1 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）の一部を改正する件（平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号）
- 2 農薬抄録「スピロジクロフェン」（殺ダニ剤）（平成 21 年 10 月 30 日改訂）：バイエルクロップサイエンス株式会社、未公表
- 3 JMPR：“SPIRODICLOFEN”，Pesticide residues in food - 2009. Report of the Joint Meeting of the FAO Panel of Experts on Pesticide Residues in Food and the Environment and WHO the Core Assessment Group. P261-286(2009)
- 4 US EPA：Spirodiclofen；Human Health Risk Assessment for use on Citrus Fruit, Grape, Pome Fruit, Stone Fruit, and Tree Nut Crops. PC Code:124871. Petition No.2F6469. DP Barcode:D285047(2005)
- 5 US EPA：Pesticide Fact Sheet：Spirodiclofen(2005)
- 6 EFSA：Peer review of the pesticide risk assessment of the active substance spirodiclofen.(2009)
- 7 食品健康影響評価について（平成 22 年 1 月 25 日付け厚生労働省発食安 0125 第 4 号）
- 8 農薬抄録「スピロジクロフェン」（殺ダニ剤）（平成 24 年 1 月 11 日改訂）：バイエルクロップサイエンス株式会社、一部公表予定
- 9 スピロジクロフェンの食品健康影響評価に係る追加資料の提出について（回答）：バイエルクロップサイエンス株式会社、未公表
- 10 スピロジクロフェンの作物残留試験：バイエルクロップサイエンス株式会社、未公表